事務事業評価表

1．基本事項

作成日　平成26年06月04日(水)

事務事業	危険物規制事務	担当課	予防課	担当係	危険物保安係	管理番号	4508
総合振興計画 基本戦略		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□		
総合振興計画 主要プロジェクト					サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	000005 安全に暮らせるまちづくり＜生活安全＞	根拠法令個別計画等	消防法・火薬類取締法・高圧ガス保安法・液化石油ガス法 深谷市火災予防条例				
行政計画分野別施策名 中項目	000002 消防・救急体制の充実						
行政計画分野別施策名 小項目	000001 火災予防の推進						

事業概要	消防関係法規等を遵守させることにより安全を確保し、危険物事故の発生防止を図る。
目的 ※何のために	火災及び危険物事故を防止し公共の安全を確保する。
対象 ※誰・何を対象に	危険物貯蔵取扱施設、火薬類の消費 高圧ガス施設、液化石油ガス施設、少量危険物貯蔵取扱施設、指定可燃物貯蔵取扱施設
手段 ※どのように	危険物施設等の設置または変更許可申請の処理・審査及び検査や各種届出の処理・審査及び検査を実施する。 危険物施設等に対し立入検査を実施する。
成果 ※何を求めるか	火災及び危険物事故を防止し公共の安全を確保する。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
• 危険物製造所等申請処理・審査及び検査	• 圧縮アセチレンガス等の届出処理・審査及び検査
• 危険物製造所等届出処理及び審査	• 火薬類取締法に関する申請処理・審査及び検査
• 危険物施設台帳管理	• 高圧ガス保安法に基づく立入検査
• 危険物事故調査及び報告	• 火災予防条例の規制に関すること
• 危険物施設の査察業務	•
• 液化石油ガス法に関する届出等の処理・審査及び検査	•

2．事業費（投入コスト）

※当該年度以降の数値は内部検討のため試算したものです（未確定数値）　単位：円

区分			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
年度別計画								
事業費	予算（現額）		0	0	0	0	0	0
	決算額		0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)		0.00	3.30	3.30	4.30	4.30	4.30
	人件費相当試算※1		0	25,195,500	26,056,800	33,724,900	33,724,900	33,724,900
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			0	25,195,500	26,056,800	33,724,900	33,724,900	33,724,900

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名 / 目標値 / 実績値 / 年度別目標値の設定根拠 / 実績値の出所・算出式	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標なし
□	活動指標１	危険物施設管理数	目標値							■
			実績値	0.00	751.00	737.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠								
□	活動指標２	危険物施設等許可申請・軽微変更届出等件数	目標値							■
			実績値	0.00	135.00	152.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠								
■	活動指標３	危険物施設立入検査割合	目標値	0.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値	0.00	81.30	48.25	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		立入検査計画に基づく立入検査目標件数３１５施設						
		実施施設／実施計画施設			２５６／３１５	１１４／３１５				
■	成果指標１	立入検査結果改善報告割合	目標値	0.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値	0.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		改善結果報告書の報告率						
		報告済施設／改善報告対象施設			２１／２１	１８／１８				
□	成果指標２	火災及び危険物事故件数（暦年数値）	目標値							■
			実績値	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠								
□	効率指標１	許可申請件数と立入検査件数１件あたりの費用	目標値							■
			実績値	0.00	64,439.00	97,958.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠								

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動（意図した活動を行っているか）	C	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 危険物製造所等設置許可申請３件・変更許可申請４９件、軽微変更届出９３件、火薬類消費許可申請７件の合計１５２件の申請等があり、審査及び検査を公平かつ適正に実施できた。危険物施設立入検査は、危険度に応じた立入検査計画を立て危険度の高い施設を優先に１１４施設実施した。
成果（意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 立入検査で１８施設に指摘事項があったが、全ての施設より改善報告を受け目標どおり成果を上げている。
効率性（効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 総事業費試算／許可申請、軽微変更届出件数（１５２件）＋立入検査件数（１１４件）にて算定したもの。

評価者	課長補佐兼危険物保安係長　新井俊光

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度改善・改革案	危険度の高い危険物施設の立入検査を優先に実施するとともに、全ての危険物施設の立入検査を計画的に実施していくことが必要なため、危険物施設等許可申請・軽微変更届出等の審査及び検査等や施設管理台帳の管理の効率化を図らなければならない。
達成状況及びその効果	危険物施設の立入検査数は平成２４年度より１４２件減少し１１４件であった。立入検査改善報告は、１８施設に指摘事項があり、全ての施設から改善報告を受け是正に向けて改善が進んでいる。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	危険物規制事務	担当課	予防課	担当係	危険物保安係	管理番号	4508

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 → ■ 成果向上のための改善
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

危険物施設等許可申請・軽微変更届出等について、公正かつ適正に審査及び検査等が実施できている。
危険度の高い危険物施設を優先的に立入検査し、改善報告率は目標どおり実施できているが、立入検査は多くの施設を実施できるよう効率化を図る必要がある。

評価者	予防課長　大谷政春

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

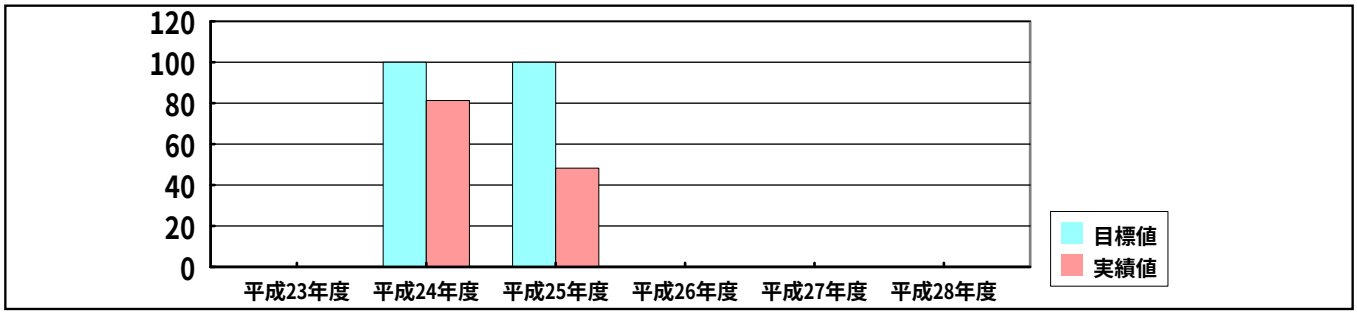
改善・改革案	危険度の高い危険物施設を選定し立入検査を実施するとともに、検査内容も重点項目に注視し、検査時間の効率を図り、多くの危険物施設の立入検査を実施していくことが必要である。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

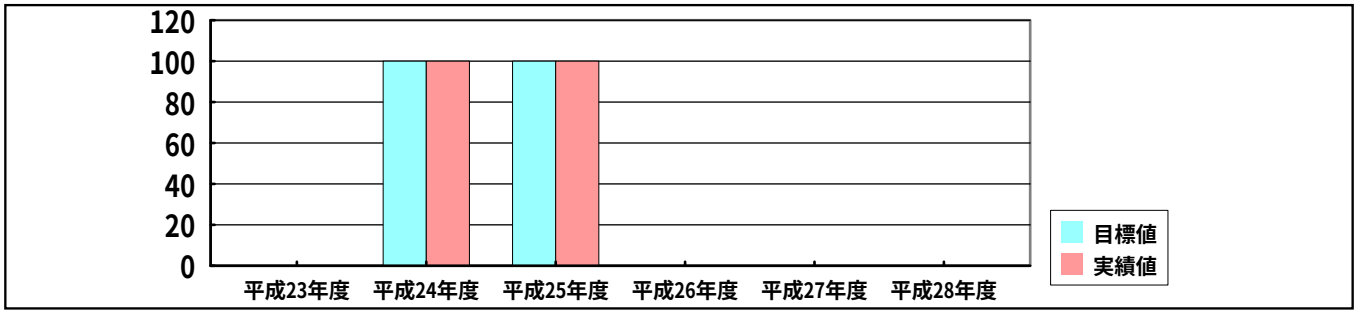
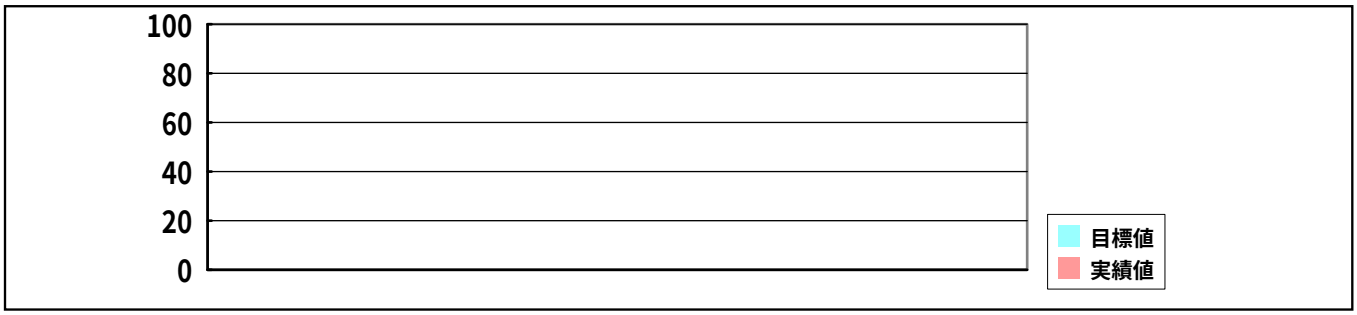
今後の課題	立入検査については、危険物施設等許可申請・軽微変更届出等の審査及び検査等の事務量の増減に伴い立入検査業務量が変化するという不安定な面もあるが、検査内容を重点項目とその他に分類し、多くの危険物施設の立入検査を実施していく必要がある。 危険物事故を防止するためには、日頃の保守点検の実施と内部研修が有効と考えられるため、危険物施設の安全担当者を対象に危険物安全講演会等を開催し危険物事故防止の推進を図る必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標３	指標名	危険物施設立入検査割合



区分	成果指標１	指標名	立入検査結果改善報告割合



区分		指標名